



厚生労働省 三重労働局発表

令和3年8月30日(月)

担	厚生労働省三重労働局職業安定部 職業安定課長	藤木 真保
当	職業安定課長補佐	堀 保
	地方労働市場情報官	辻村 尚人
		電話 059-226-2305

報道関係者 各位

## 「雇用情報モニター報告集計結果(令和3年度第2・四半期)」

三重労働局では、県内企業・経営者団体等に雇用情報モニターを委嘱し、企業活動の実績と見通し、雇用動向等についての報告を、年4回(四半期毎)提出いただいております。

このたび、令和3年度第2・四半期(令和3年7月～9月)実績見込み及び次期(令和3年10月～12月)見通しの集計結果を取りまとめましたので公表します。

### 調査結果 主な項目の概要

#### ○ 受注・生産状況の実績見込みと今後の見通し

「増加」が32.8%で前期と比べ減少、「減少」が11.5%で前期と比べ減少、D I(「増加」-「減少」)は21.3で前期と比べ11.3ポイント上昇。次期見通しは5.0で下降予想。

#### ○ 企業収益の実績見込みと今後の見通し

「増加」が38.1%で前期と比べ増加、「減少」が19.0%で前期と比べ減少、D I(「増加」-「減少」)は19.1となり前期と比べ23.9ポイント上昇。次期見通しは4.9で下降予想。

#### ○ 稼働操業状況の実績見込みと今後の見通し

「増加」が27.9%で前期と比べ減少、「減少」が6.6%で前期と比べ減少、D I(「増加」-「減少」)は21.3となり前期と比べ7.9ポイント上昇。次期見通しは11.5で下降予想。

#### ○ 設備投資の見込み

「ある」が22.2%で前期と比べ0.4ポイント減少、「ない」が50.8%で前期と比べ4.0ポイント増加。D I(「ある」-「ない」)は▲28.6で前期と比べ4.4ポイント下降。

#### ○ 従業員の過不足判断

「過剰」は0.0ポイントで前期と比べ同率、「やや過剰」は6.3ポイントで前期と比べ減少、「不足」は3.2ポイントで前期と比べ増加、「やや不足」は21.4ポイントで前期と比べ増加。D I(「過剰」-「不足」)は▲18.3となり前期と比べ9.5ポイント下降(不足判断が増加)。次期見通しは▲18.5で「不足」判断は増加の予想。

#### ○ 雇用調整の状況

実施事業所数は21事業所(33.3%)で、前期の29事業所(46.8%)より8事業所の減少。

## ○資料

別添 「令和3年度 雇用情報モニター報告集計」

## ○参考

- ・調査対象 地域経済にかかわりの深い企業の中から公共職業安定所長の推薦により労働局長が委嘱した、民間企業及び事業主団体
- ・調査方法 調査票により、モニターから公共職業安定所長に郵送等により提出
- ・調査時期 令和3年度第2四半期（令和3年7月～9月）実績見込み及び次期（令和3年10月～12月）見通しについて
- ・モニター内訳 民間企業64社（建設業2、製造業47、運輸業2、小売業8、サービス業等5）事業主団体等8
- ・回答状況 民間企業64社、事業主団体等8団体

（注）集計結果には、業種別等の偏りがあると思われるのでご了承ください。

# 令和3年度 雇用情報モニター報告集計

令和3年度 第2・四半期  
三重労働局職業安定部職業安定課

令和3年度第1・四半期（3年4月～6月 以下前期）においては、多くの指標のD Iがマイナスとなりましたが、令和3年度第2・四半期（3年7月～9月 以下今期）においては、多くの指標のD Iがプラスとなりました。

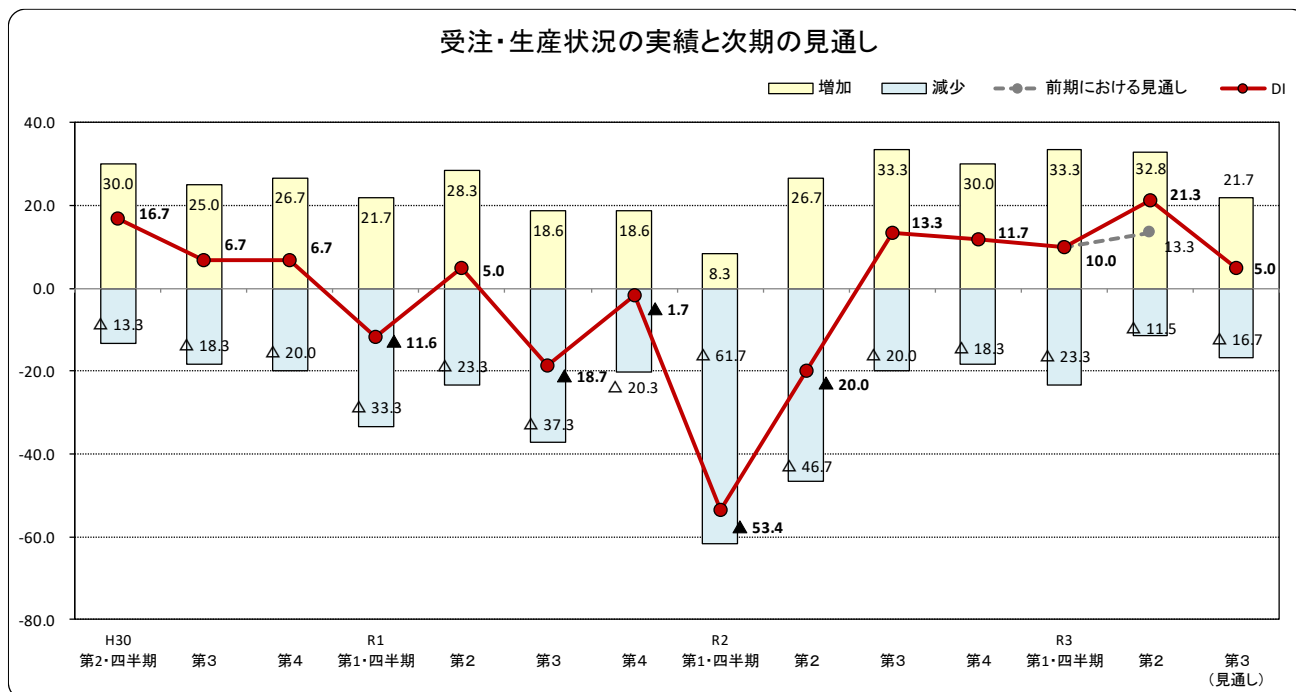
次期の予想においては、多くの指標で下降の見通しとなっています。

## 1. 受注・生産動向について

### 【受注・生産状況の実績見込みと今後の見通し】

今期の受注・生産状況では、「増加」が32.8%、「減少」が11.5%で、D I（「増加」－「減少」）は21.3で前期と比べ11.3ポイント上昇し、4期連続でプラスとなりました。

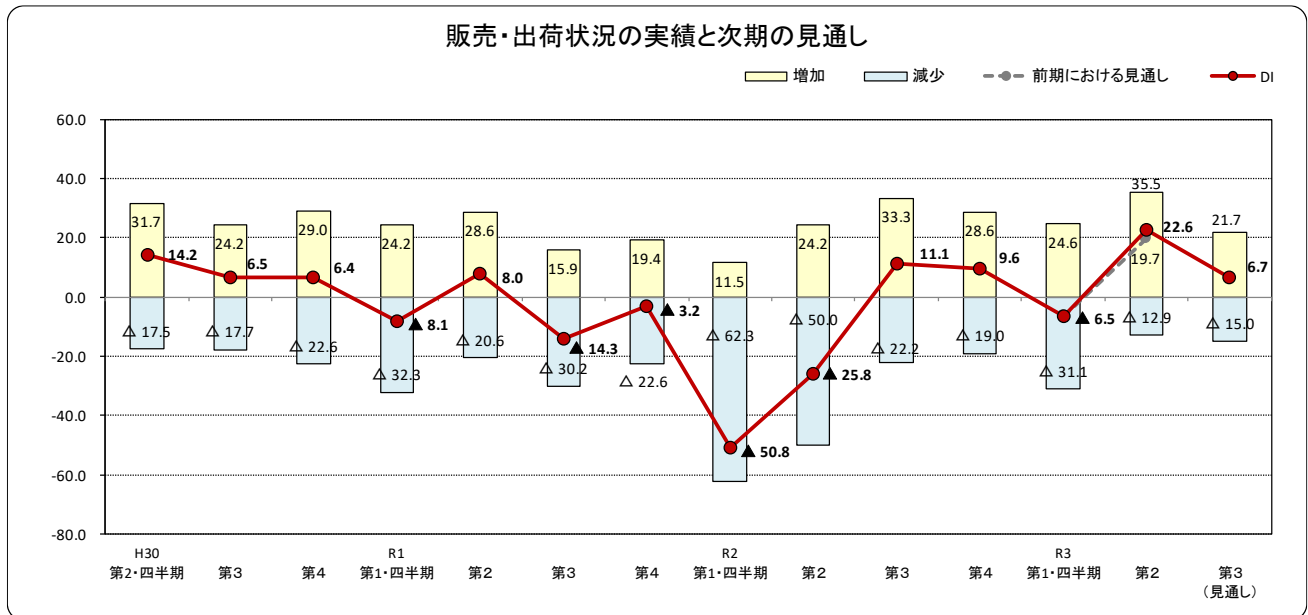
次期の見通しについては、D Iは5.0で、下降する予想となっています。



### 【販売・出荷状況の実績見込みと今後の見通し】

今期の販売・出荷状況では、「増加」が35.5%、「減少」が12.9%で、D I（「増加」－「減少」）は22.6で前期と比べ29.1ポイント上昇し、2期ぶりにプラスとなりました。

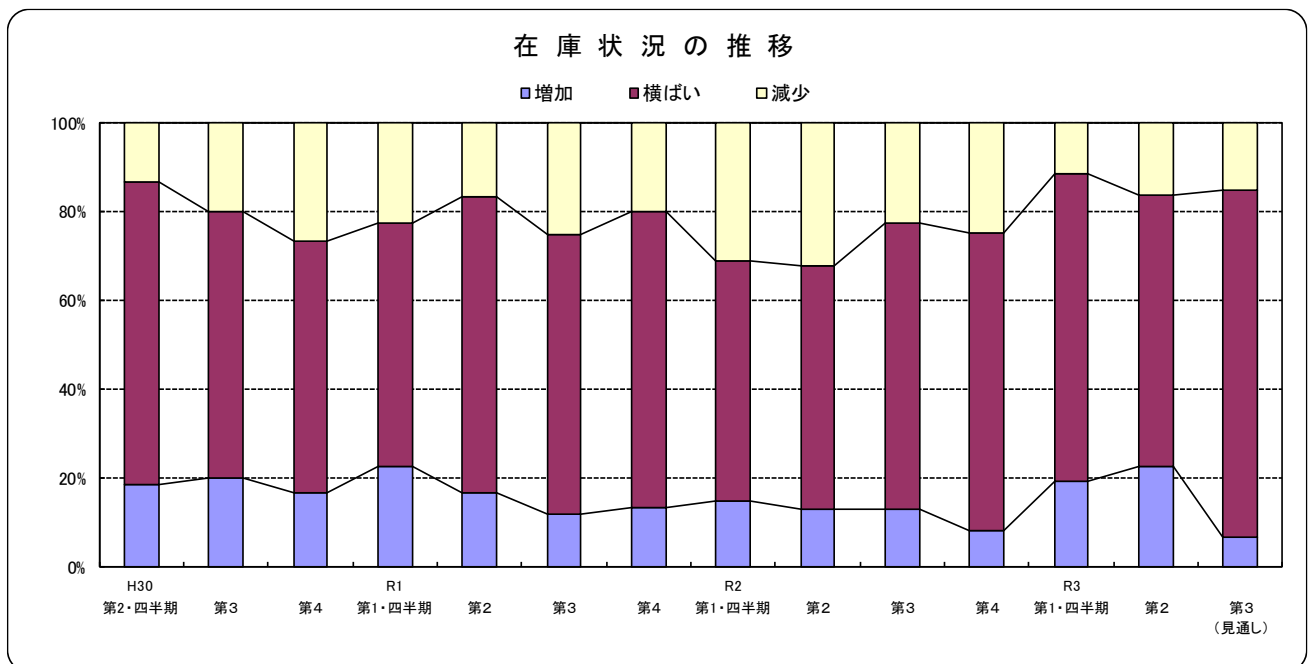
次期の見通しについては、D Iは6.7で、下降する予想となっています。



### 【在庫状況】

今期の在庫の状況についてみると、「増加」が増加、「減少」が増加、46期連続して「横ばい」が最も多くなりました。

次期の見通しについては、「増加」が減少し、「減少」が減少する予想となっています。

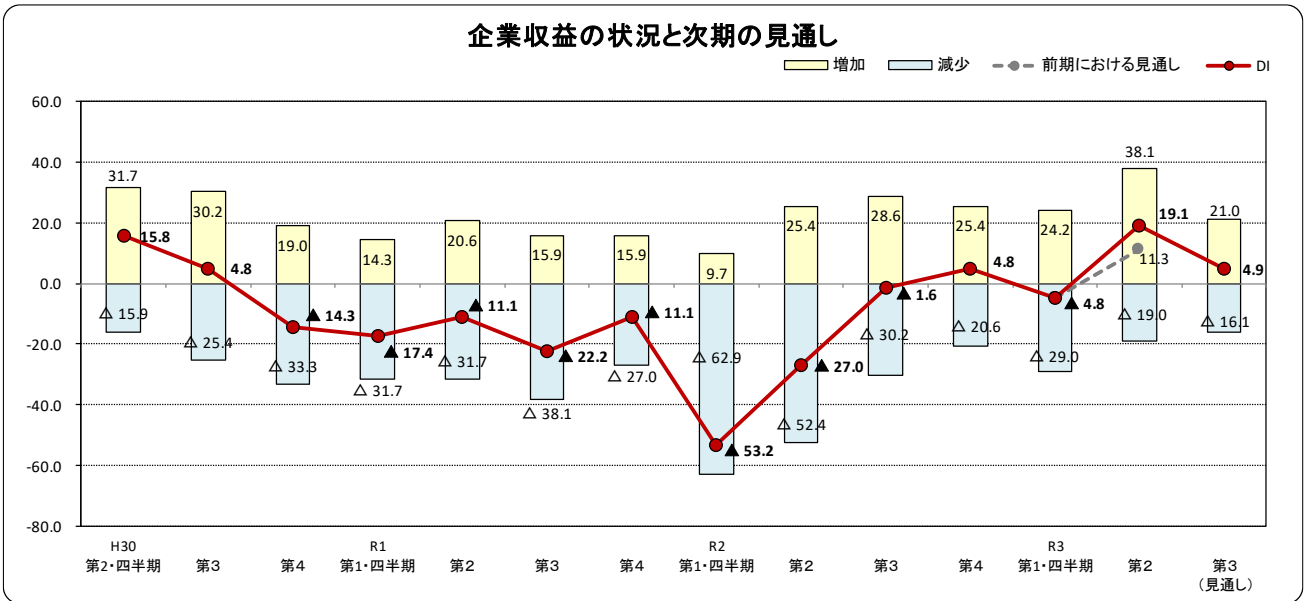


## 2. 企業活動の状況について

### 【企業収益の実績見込みと今後の見通し】

今期の企業収益の状況では、「増加」が38.1%、「減少」が19.0%で、D I（「増加」－「減少」）は19.1となり、前期と比べ23.9ポイント上昇し、2期ぶりにプラスとなりました。

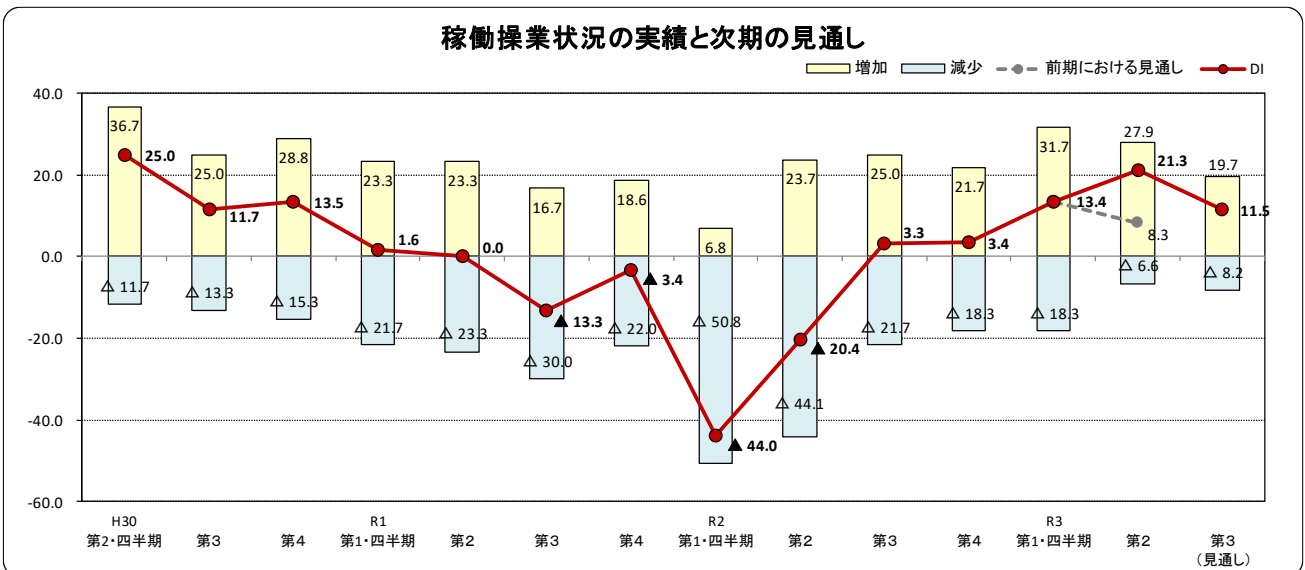
次期の見通しについては、D Iは4.9で、下降する予想となっています。



### 【稼働操業状況の実績見込みと今後の見通し】

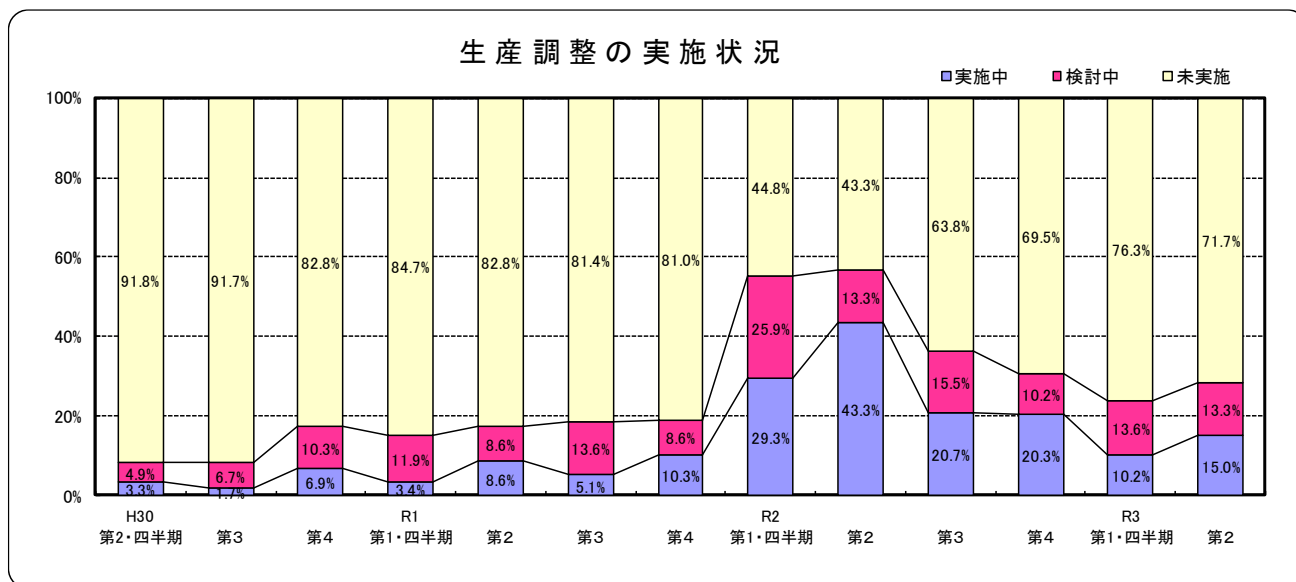
今期の稼働操業状況では、「増加」が27.9%、「減少」が6.6%で、D I（「増加」－「減少」）は21.3となり、前期と比べ7.9ポイント上昇し、4期連続でプラスとなりました。

次期の見通しについては、D Iは11.5で、下降する予想となっています。



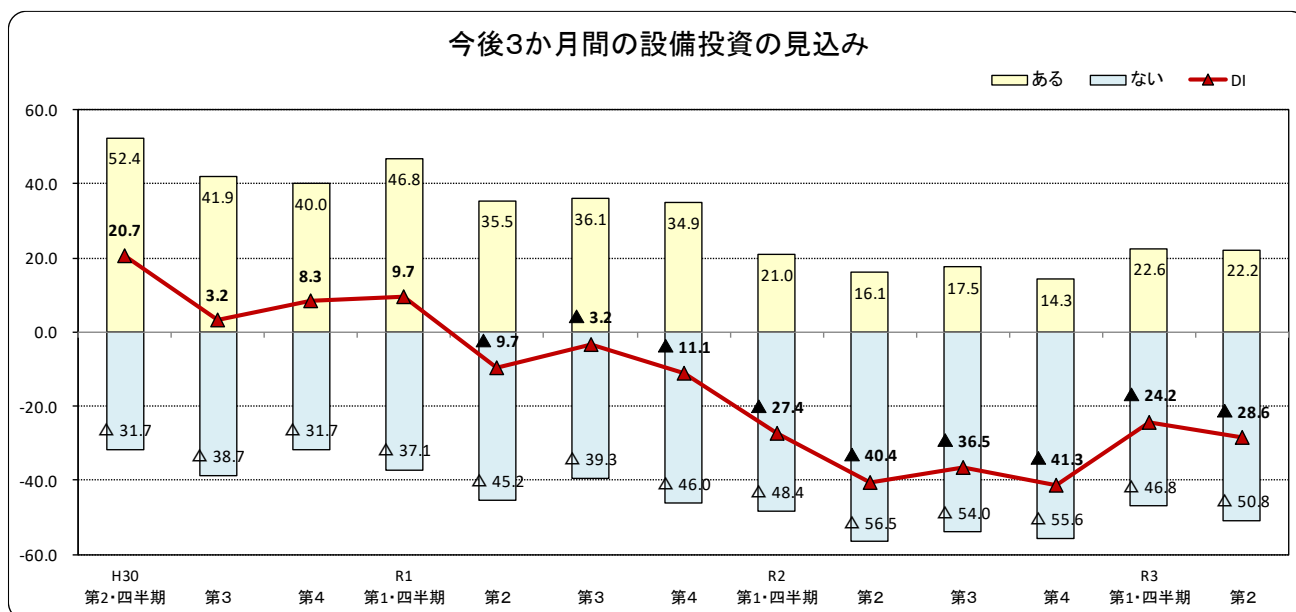
### 【生産調整の状況】

生産調整を「未実施」とした事業所は、今期は71.7%で前期と比べ4.6ポイント減少、「検討中」は13.3%で0.3ポイント減少、「実施中」は15.0%で4.8ポイント増加となりました。



### 【設備投資の見込み】

今後3か月間の設備投資の見込みでは、「ある」とする事業所の割合は22.2%で前期と比べ0.4ポイント減少、「ない」とする事業所の割合は50.8%で前期と比べ4.0ポイント増加、D I（「ある」-「ない」）は▲28.6となり、前期と比べ4.4ポイント下降しました。

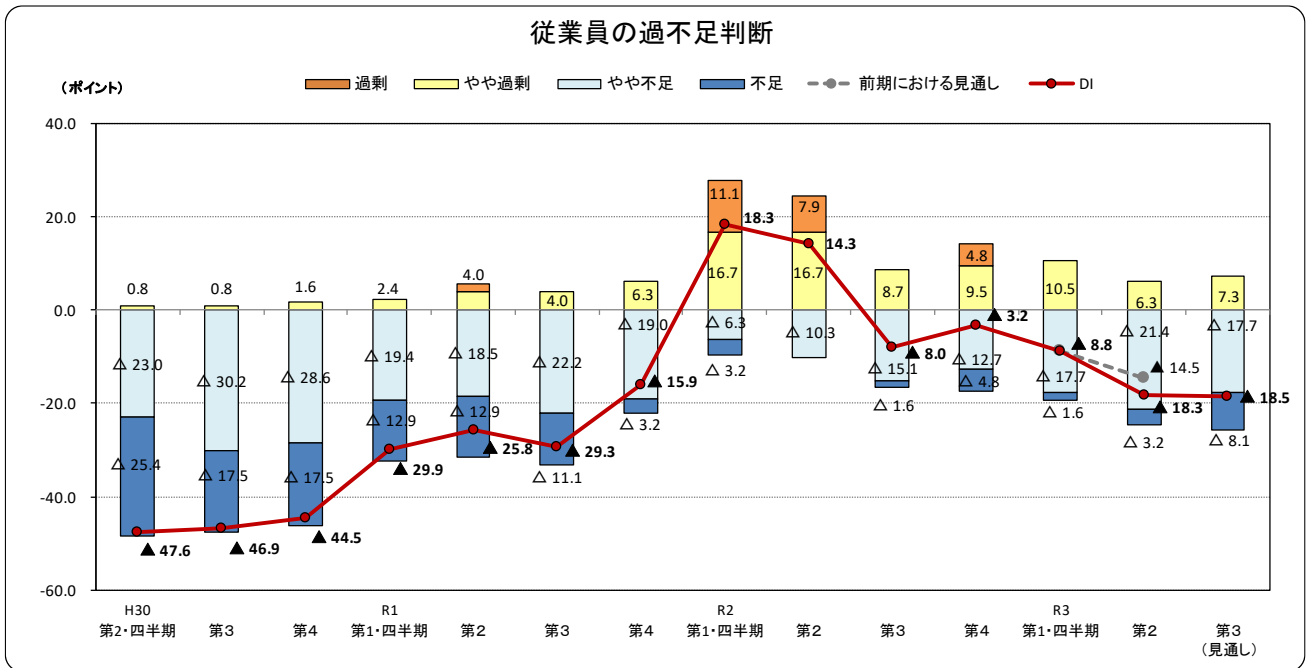


### 3. 雇用動向について

#### 【従業員の過不足判断】

「過剰」とする事業所は0.0ポイントで前期と同じ、「やや過剰」とする事業所は6.3ポイントで前期と比べ4.2ポイント減少、「不足」とする事業所は3.2ポイントで前期と比べ1.6ポイント増加、「やや不足」とする事業所は21.4ポイントで前期と比べ3.7ポイント増加し、D I（「過剰」-「不足」）は▲18.3となり、前期より9.5ポイント下降（不足判断が増加）し、4期連続で不足判断が過剰判断を上回りました。

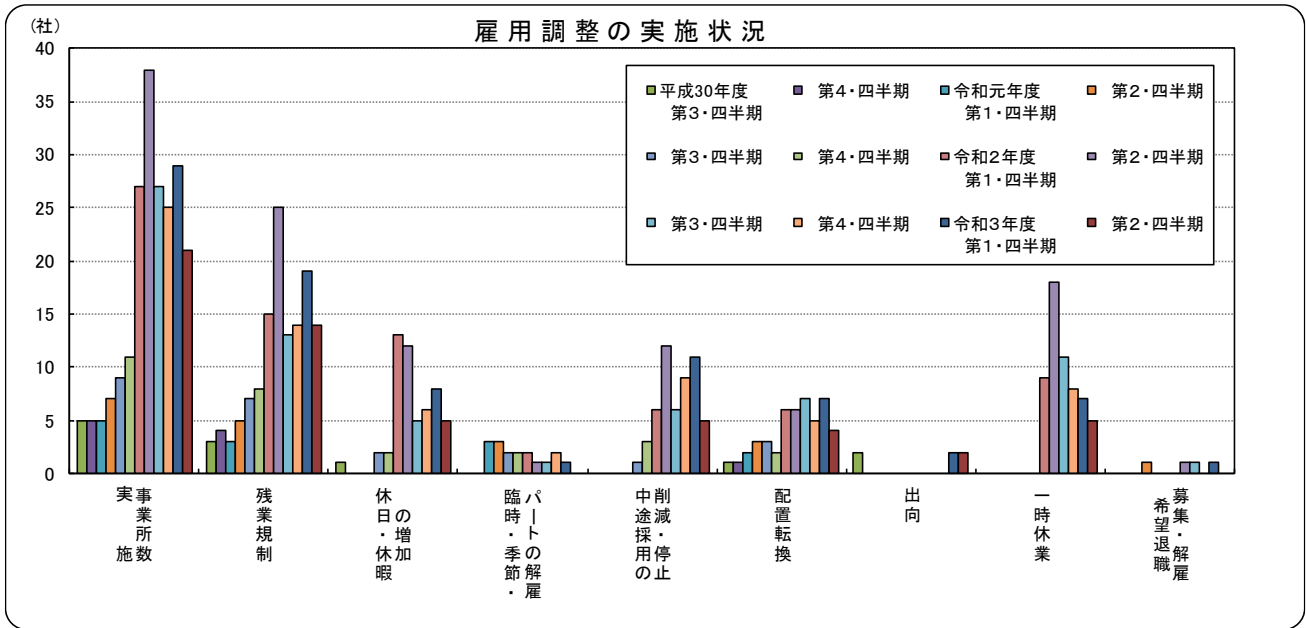
次期の見通しについては、D Iは▲18.5で、不足判断が増加する予想となっています。



#### 【雇用調整の状況】

雇用調整を実施している事業所数は、今期は21事業所（33.3%）で、前期の29事業所（46.8%）より8事業所の減少となりました。

	合計	実施なし	予定あり	実施事業所数	残業規制	休日・休暇の増加	臨時・季節・パートの解雇	中途採用の削減・停止	配置転換	出向	一時休業	希望退職募集・解雇
平成30年度 第3・四半期	60	53	2	5	3	1	0	0	1	2	0	0
第4・四半期	59	53	1	5	4	0	0	0	1	0	0	0
令和元年度 第1・四半期	61	56	0	5	3	0	3	0	2	0	0	0
第2・四半期	62	54	1	7	5	0	3	0	3	0	0	1
第3・四半期	62	52	1	9	7	2	2	1	3	0	0	0
第4・四半期	62	51	0	11	8	2	2	3	2	0	0	0
令和2年度 第1・四半期	61	25	9	27	15	13	2	6	6	0	9	0
第2・四半期	59	18	3	38	25	12	1	12	6	0	18	1
第3・四半期	63	33	3	27	13	5	1	6	7	0	11	1
第4・四半期	62	34	3	25	14	6	2	9	5	0	8	0
令和3年度 第1・四半期	62	30	3	29	19	8	1	11	7	2	7	1
第2・四半期	63	34	8	21	14	5	0	5	4	2	5	0



<主なコメント>

- 現状は自動車用半導体不足の影響は少ないが今後減少の可能性あり。（製造業）
- 半導体不足により受注減少の場合、残業規制・一時休業を実施する可能性有り（製造業）
- 原燃料費の上昇による収益低下あり。（製造業）
- 一部の特定職種に限って、従業員不足感がある。（製造業）
- 設備投資が再開され、需要は回復し、工場の操業度も改善している。（製造業）
- 昨年来の巣ごもり需要も一巡し、販売は減少傾向。（製造業）
- 生産調整として残業の抑制を行っている。（製造業）
- 受注・生産動向は新型コロナ関係の減産に関する影響はなく回復している。（製造業）
- 企業収益、操業動向は生産の動向と連動しており増加傾向にある。（製造業）
- 新型コロナによる経営混迷、半導体不足による生産活動・収益に影響が出ている。（製造業）
- 今期、次期とも取引先の稼働日増により、生産増。（運輸業）
- 電子部品の調達困難に伴い、生産計画に影響（遅れ）が出ている。（製造業）
- コロナ及び半導体不足等の影響が継続している。（製造業）
- 次期以降の受注の動向は不透明感があり、減少の懸念がある。（製造業）
- 高い需要に応えるため、派遣社員を中心に増員を進めている。（製造業）
- 受注が伸び悩む製品も多く、配置転換や残業規制は継続的に実施している。（製造業）
- 前期はコロナの影響を大きく受けた。今期は夏休みによる業績回復期待したい。（宿泊業）
- 東南アジア圏でのコロナ感染拡大による部品供給不足。（製造業）
- 売り上げ減少に加え、原材料の高騰により利益圧迫。（製造業）
- 人員については閑散ラインから繁忙ラインへ応援シフト、社内調整で対応。（製造業）
- 前期までは目標数値を遂行していたが減少傾向。先の受注見込みが希薄（建設業）
- 雇用調整助成金を活用し、雇用維持を図っている。（製造業）
- 人員の不足感があり、求人募集を行っているが適正人員に届いていない。（製造業）